

# 平成 27 年度 地球環境論 (T140) 第 1 回ガイダンス

2015 年 4 月 10 日 (金) 実施

担当教員：内山雄介 (工学部市民工学科准教授)

## ➤ 目的

地球の歴史的起源, 変遷と現状を学びその本質を理解する. 具体的に大気, 水域, 地圏, 生態などの地球環境諸要素を客観的, 定量的に把握することにより, 現在また将来の諸問題についてその原因, 現状, 対策について考える基礎知識を習得する.

## ➤ 関連する学習・教育目標

(A-1) 多面的思考, (B) 基礎学力, (C) 専門基礎学力 (D-3) 課題解決 (D-4) 自然環境・文化・歴史

## ➤ 講義計画 (指定のない限り原則として教室は C2-201)

	開講日	時限	内容
1	4 月 10 日	2	ガイダンス/地球の歴史と環境変化
-	4 月 17 日	-	休講 (工学部専門科目休講日のため)
2	4 月 24 日	2	地球環境と生物
3	5 月 01 日	2	気圏・水圏・地圏環境 1
4	5 月 08 日	2	気圏・水圏・地圏環境 2
-	5 月 15 日	-	休講 (創立記念日のため)
5	5 月 22 日	2	グループディスカッション
6	5 月 29 日	2	気候変動・温暖化 1
7	6 月 05 日	2	中間試験
8	6 月 12 日	2	グループディスカッション発表会
-	6 月 19 日	-	休講 (市民工学概論と入れ替え)
9	6 月 26 日	1	気候変動・温暖化 2 (6/19 の補講日)
10	6 月 26 日	2	地球環境モニタリング
11	7 月 03 日	2	地球環境シミュレーション
12	7 月 10 日	2	地球環境と水資源
13	7 月 17 日	2	地球環境問題と対策
14	7 月 24 日	2	期末試験
15	7 月 31 日	2	まとめ
16	8 月 07 日	2	予備日

(講義の進捗状況により内容を変更することがある)

## ➤ 成績評価方法

評価は中間試験の成績（30 点満点）、グループディスカッション（30 点満点）、および期末試験の成績（40 点満点）を加えた合計が 60 点以上の履修生を合格とする。合格者のうち、90 点以上を秀（S）、80 点以上 90 点未満を優（A）、70 点以上 80 点未満を良（B）、70 点未満を可（C）とする。ただし、出席回数が 70%以下（全 15 回なので 5 回以上の欠席に相当）や、授業マナーが悪いと判断される履修生については不合格（不可）とする。原則として再試験は行わない。

## ➤ 担当教員

- ✓ 工学部市民工学科准教授 内山雄介（専門は海岸工学，海洋物理学，水理学）
- ✓ オフィス：1W-308
- ✓ メール：uchiyama@harbor.kobe-u.ac.jp
- ✓ 講義資料等 Web サイト：<http://coast.dce.kobe-u.ac.jp/?Classes>
- ✓ 配布資料解凍パスワード：初回講義で指示する。
- ✓ オフィスアワー：講義終了後，月曜日 15 時～18 時，あるいはアポイントのうえ随時。

## ➤ 教科書・参考書

教科書はスライドのハードコピーを中心とした冊子を配布するので毎回持参するように。参考書は地球環境科学（樽谷修，朝倉書店）であるが，購入は必須ではない。全ての資料等は上記 Web サイトからの DL 配布する予定である。また，必要に応じてプリントを直接配布することがある。